



スコップ三味線体験



JINK STYLE

日本海に溶けてしまうような夕陽をみながら集いを楽しむ「夕陽も溶ける日本海」が、ビーチサッカー初日終了後の7月19日(土)折腰内海岸特設会場で行われました。

この日は、曇り空となり夕陽がみられるかどうかという空模様でした。日没時間が近づいてくると、少しだけ夕陽が顔を出しました。

4回目を迎えたイベントは、2部構成となっていて、第1部は「日本海演歌の部」として、山川大介さん・藤はじめさんによる歌謡ショー。続いて第2部の「夕陽ふれあいの部」は、スコップ三味線家元・館岡屏風山さんのショーが行われ、今年も来場者がスコップ三味線の演奏を体験したり、ふれあいを楽しみました。

日没となる7時過ぎには、来場者とともにカウントアップ(1、2……9、「ジュッ!」)を行いました。最後は、JINK STYLE(ジंक スタイル)のライブ。彼らの歌と三味線に会場が盛り上がりました。

## 優秀作品が決まる

町イメージキャラクター  
選定委員会で審査

町では、合併10周年を記念して、「町イメージキャラクター」をつくるため、5月9日(金)～6月23日(月)までそのデザインを公募しました。

募集には北は北海道、南は沖縄まで全国各地から284点の応募がありました。このうち、優秀作品2点を選定するため、イメージキャラクター選定委員会(野上祐一委員長他10人の委員)の第1回目が6月26日(土)に開催されました。1次選考では44点に絞られました。2次選考は7月17日(土)に行われ、44点から6点が候補となり、最終的には2点を選びました。

優秀作品には、小泊中教員チームの米をイメージした作品が選ばれ、力強さを感じる作品となっています。もう1点は、大阪府泉佐野市の里見節子さんの作品で、イカをイメージした作品です。米を題材にした作品の力強さに対してかわいらしさが評価されました。

これらの作品は、データ化後、管内小中学校から名前を募集する予定です。また、着ぐるみづくりも進めていきます。完成次第、町のイベントなどでお披露目となります。



小泊中教員チーム

大阪府泉佐野市  
里見節子さん

選定作業

